

事業所名

スペシャル・ニーズ・サポートカレッジ単2

支援プログラム

作成日

令和7年

2月

17日

法人（事業所）理念		私たちは、一人一人に違いがあります。その違いが学びにくさや働きにくさ、生活の困りとなる場合があります。その苦手や困りをテクノロジーで支援し、持っている力を最大限引き出し活躍できる社会を目指します。										
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達が自主的に行動できるような支援</li> <li>集団になじむ支援を行い、学校と家庭以外の居場所とする。</li> <li>子ども達の特性を理解し、どんな小さな事でも褒めて自信をつける支援を行います。</li> </ul>										
営業時間		13 10	時	30 30	分から	17 17	時	30 00	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容												
本人 支援	健康・生活	<p>健康な生活習慣の促進や日常生活における基本的な動作や自立を促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な心身の把握（毎回体温測定・アプリを活用した心身の状態チェック）</li> <li>生活リズムの安定（定期的かつ定時に通所）</li> <li>基本的な生活習慣（スキル）の向上（清潔、片付け、おやつ作りなどの調理体験）</li> <li>SST等による身体的、精神的、社会的訓練</li> </ul>										
	運動・感覚	<p>日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の基本的技能の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体幹トレーニングを中心とした運動</li> <li>iPadを活用したタイピング練習等による目と手の協調動作の向上</li> <li>特性に応じた感覚過敏に対する配慮</li> </ul>										
	認知・行動	<p>環境から得た情報を適切に処理するための認知の偏りに対する予防と状況に合わせた対応力を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1日の時間帯別活動を示すタイムテーブルの確認による時間の認知形成</li> <li>小集団における活動での適切な行動形成、認知の偏りの配慮</li> <li>状況の変化に伴う不安やストレスなどを軽減するための振り返り等の実施</li> <li>季節ごとの興味、関心がもてるような行事を意識したイベントの開催</li> </ul>										
	言語 コミュニケーション	<p>適切なコミュニケーション能力の獲得（相手を見る・人の話を聞く・相手に伝わるように話す）や社会生活における関係性の向上を活動プログラムを通して養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>障害の特性に応じた相手への伝え方（ICTを活用した自己表現）の向上を支援</li> <li>読み書き能力の向上の為に、特性に応じた体系的言語の習得に向けた取り組み（カルタ、プリントワーク等）</li> </ul>										
	人間関係 社会性	<p>ルールに合わせた行動（集団に参加するための自己コントロール力の向上等）など社会生活における適応力を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>愛着行動を形成するためのスタッフとの信頼関係の構築</li> <li>集団活動に参加するための特性に応じた配慮</li> <li>長期休業期間における外出イベント等での公共施設等の利用を通じた社会的体験活動</li> </ul>										
家族支援		児童期、学齢期の成長・発達の心配等、家族が抱える困り感に対し寄り添いながら、関係機関と連携してサポートする。				移行支援		必要に応じて、学校でのお子様の様子を見学したり、学校の先生と支援方針について情報共有、また進学等に向けた環境変化に向けての課題提示とスムーズな移行に向けたサポートを行う。				
地域支援・地域連携		学校等や障害福祉サービス等事業所と連携した生活支援や発達支援における連携の取り組みを行う。				職員の質の向上		オンライン等を活用した事業所内研修 アレルギー対応等の外部研修				
主な行事等		<p>季節ごと（誕生日）のイベント・長期休みでの外出行事 避難訓練（地震・火災）年2回 保護者会の実施</p>										